

2022年6月～12月に福岡保養院に入院された患者の方へ

栄養課では病棟における栄養管理体制の栄養現状を把握するために、管理栄養士が内科医と協力して患者の栄養状態を調べました。

この研究の対象者に該当すると思われる方で、研究の詳細についてお知りになりたい方、またご自身の情報をこの研究に使ってほしくないと思われた方は、2024年10月31日までに末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

1.研究課題

精神科病院の入院患者の栄養状態の現状
～栄養アセスメント(GLIM基準)導入に向けて～
(倫理承認番号：福岡保養院 2024-2)

2.研究機関名および研究責任者氏名

研究機関 医療法人 緑心会 福岡保養院
研究責任者 栄養課主任 宅野真美
共同研究者 栄養課 森田紗生、川本志保
内科医 津田博子

3.研究期間

倫理委員会承認後～2025年2月28日

4.対象となる方

2022年6月～12月に入院していた患者の中からBMIの基準を外れた者、著しい体重減少、食事摂取不良など管理栄養士が栄養介入が必要だと判断した40名

5.研究の目的

2020年度の診療報酬改定により、栄養サポートチーム(NST)加算(週1回200点)に精神科病院の算定が追加されました。更に2024年度の改訂では、栄養管理体制の基準の明確化に伴い、標準的な栄養スクリーニング後の栄養評価(GLIM基準)による栄養管理手順の作成が求められています。当院でも、病棟における栄養管理体制の栄養現状を把握する為に、2022年に管理栄養士が内科医と協力して患者の栄養状態を調べ、栄養面における介入の必要性や、栄養改善でどのようなアプローチができるのかを調べました。

この研究をもとに当院での栄養アセスメントを基準化し、将来的にはGLIM基準とNST稼働により栄養管理の早期介入を行うことで、患者の栄養改善に貢献出来たらと考えています。

6.研究の意義

2022年に管理栄養士が内科医と協力して栄養介入を実施した入院患者40名について栄養アセスメント評価項目を解析することにより、患者の栄養状態の現状と今後の課題を見出していくことが本研究の意義である。

7.研究の方法

2022年6月～12月の期間に全ての病棟にて、BMIの基準を外れた者、又は著しい体重減少、食事摂取不良など管理栄養士が栄養介入が必要だと判断した40名を対象に病棟、性別、年齢、主病名、提供食事内容、身長、体重、アルブミン、血糖値、HbA1c、コレステロール、中性脂肪、ヘモグロビン、褥瘡の有無、食事摂取状況の項目を解析し、患者の栄養状態の現状と今後の課題を見出していく。

8.利用する情報

この研究に使用する情報として、7.研究の方法に示した項目を用います。

この研究に関わって取得される情報等は、外部に漏洩する事の無いよう慎重に取り扱います。取得した情報等は、解析する前に氏名などの個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、匿名化します。匿名化し、集計したデータは、USBに保存します。USBは、研究者以外の第3者に預け、研究者は確認できないようにします。

9.お問い合わせ

この研究のためにご自分の情報・データ等を使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先に**2024年10月31日**までにご連絡ください。研究に参加頂けない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡頂かなかった場合、了承頂いたものとさせていただきます。

研究成果は、研究対象者の氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、病院内報告会や学会発表、学術雑誌等での報告を行います。

本研究に関するご質問などありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

2024年9月

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：宅野真美

〒815-0004 福岡市南区高木1丁目17-5

医療法人緑心会 福岡保養院 栄養課

電話：092-431-3031(代表)